

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年5月19日（月）

2 確認箇所

- (1) H1東タンクエリア
- (2) 瓦礫類一時保管エリアN（図1）

3 確認項目

- (1) H1東タンクエリアの状況
- (2) 瓦礫類一時保管エリアNの状況

4 確認結果の概要

(1) H1東タンクエリアの状況

令和3年2月、令和4年3月と福島県沖を震源とする大きな地震（いずれも震度6強）が、連続して発生しており、最近では、昨年3月にも立地町で震度4を記録する地震が発生*している。

このため、令和4年3月16日に発生した地震の影響でタンクの位置ずれ等が発生した各タンクエリアの状況を定期的に確認してきているが、今回は、その一つであるH1東タンクエリアの状況を確認した。（前回確認：令和6年4月2日）

- ・タンク下部周囲の防水塗装に一部破損している箇所も見られたが、一連の地震以降におけるタンクの明らかな位置ずれや連結管の大きな変位は確認されなかった。（写真1、2）
- ・令和4年3月の地震以降、東京電力は、連結管が破断しタンク内に貯留されている水が漏えいすることへの対策として、変位が確認された連結管を取り外し、金属製カバーを取り付ける対応を図ってきた。
- ・本日は、その該当箇所の一つを確認しところ、これまでに講じられた改善状態が維持されていることを確認した。（写真3）
- ・確認した範囲では、タンクや連結管閉止部等からの水漏れは確認されなかった。

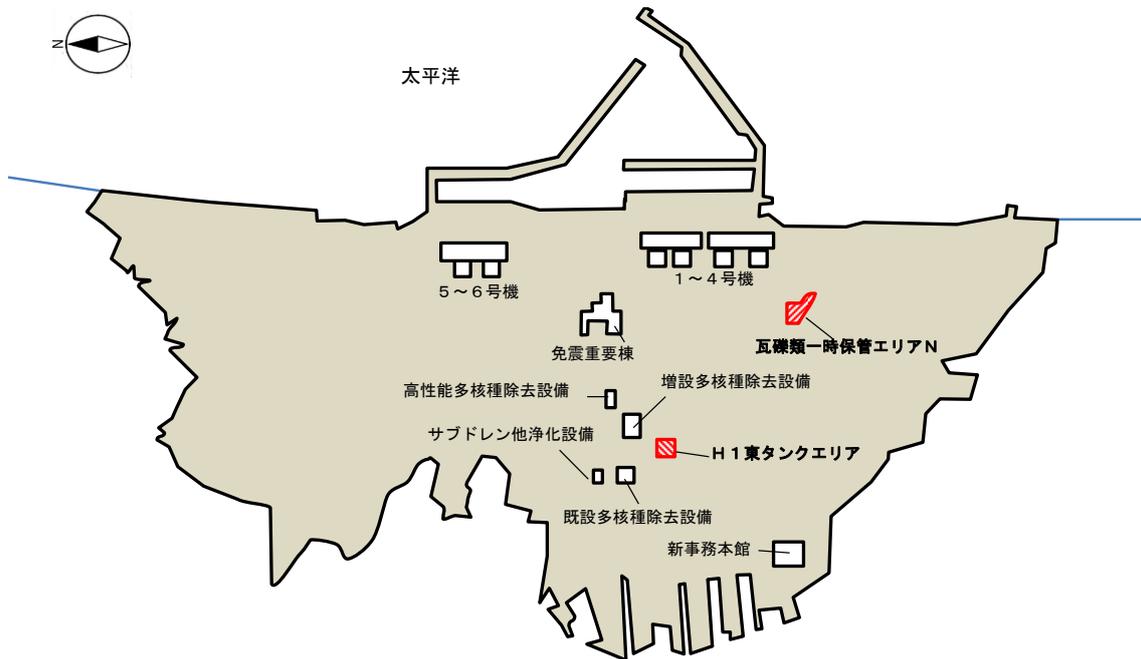
※ 令和6年3月時の福島県沖を震源とする地震の発生状況

3月13日午後 8時24分頃 マグニチュード4.7 立地町震度3

3月15日午前 0時14分頃 マグニチュード5.8 立地町震度4

3月17日午前 6時17分頃 マグニチュード5.4 立地町震度4

- ・タンクエリアの影響：H1東タンクエリアでは、全24基中23基のタンクで位置ずれや8箇所の連結管でメーカー推奨値を超える変位が確認された。
なお、いずれのタンクエリアにおいても、タンクや配管等からの漏えいは、確認されていない。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
H1東タンクエリア外観
(西側から撮影)



(写真2)
タンク下部周囲の防水塗装はがれの状況



(写真3-1)
変位が確認され、取り外された連結管
の例 (令和4年7月29日撮影)



(写真3-2)
同左
(令和7年5月19日撮影)

(2) 瓦礫類一時保管エリアNの状況

汚染土壌を収納したノッチタンク351基を保管している瓦礫類一時保管エリアN（以下「一時保管エリアN」という。）の現況を確認した。

(前回確認：令和6年4月26日)

- ・一時保管エリアNの周囲は、単管パイプのバリケードが敷かれており、関係者以外立入禁止措置がとられていた。(写真4)
- ・ノッチタンクは1～2段積み保管されていた。また、2段積みになっているノッチタンクの上段は、天井部とバンドで固縛してあり、荷崩れを防止するための対策がとられていた。(写真5)
- ・ノッチタンク表面に錆などが見られたが、追加的措置（第1段目タンクと床面との間に施されている目地補修：コーキング処理）が講じられていることを確認した。(写真6)
- ・確認した範囲において、汚染土壌の飛散や流出している様子は認められなかった。



(写真4)
一時保管エリアNの外観
(北側から撮影)



(写真5-1)
ノッチタンクの保管状況①



(写真5-2)
ノッチタンクの保管状況②



(写真6-1)
第1段目タンクと床面との間に施されている目地補修（コーキング処理）についての追加的措置①



(写真6-2)
目地補修（コーキング処理）についての追加的措置②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。